



2015年度 日中語学研修・文化交流活動報告

平成 27 年 6 月 島貫清司

この交流も 65 歳から始めて今年 76 歳となるまで今回で 9 回目となる。やはり体力や根気の衰えを感じる。今までは 3,4 大学での交流をしていたが、前前回からは主として天津老年人大学と天津中医薬大学との交流に絞り、又夜の学生達との交流を中止している。今回は天津老年人大学のみに絞り中身の濃い交流を行った。そのほか、日頃から交流をしている友人達との交流と大連市（旅順口含む）の見学を実施した。

1. 行程

日	曜	午前	午後	夜
5/26	火	関空 15 : 20 発 (CA152 便	大連経由) 天津濱海国際空港 19 : 15 着 ホテルへ	天津泊
5/27	水	市内見学	天津老年人大学と交流 (夕食会)	天津泊
5/28	木	友人との交流昼食会	天津中医薬大学留学生との交流 天津職業大学卒業生との交流夕食会	天津泊
5/29	金	市内散策	天津職業大学卒業生達との交流夕食会	天津泊
5/30	土	天津から大連へ 天津駅発 10 : 07 (G391 高速鉄道)	大連北駅着 15 : 08 ホテルへ	大連泊
5/31	日		旅順口見学	大連泊
6/1	月		大連市内見学	大連泊
6/2	火	大連周水子国際空港 12 : 30 発 (CA151	関空 15 : 30 着 解散	

宿泊場所 天津市 維也納国際酒店 (天津貴州路店)
大連市 大連賓館 (旧大和ホテル)

2. 参加者

永井 俊雄 (84 歳) 郷丸 絹恵 (76 歳) 中西 幸男 (66 歳) 島貫 清司 (76 歳)

3. お世話になった人々

(1) 天津老年人大学

日本語高級会話クラス : 金曉雲、範麗森、李振鎖、張麗君、劉有恒、王聯生、錢啓光、厲永潮、高健、李金鉞、劉錫武、張鋼、孫若淨、霍強、劉新男、徐実男

日本語日本人講師 : 岡 興三

(2) 友人 : 林瑞峰、宋さん、富苺睿

(3) 天津職業大学卒業生 : 董明、田亜莉、呂岩、滕飛 (董明の従弟)、曹さん夫妻 (董明の友人)

(4) 天津中医薬大学留学生 : 金崎 正憲

4. 諸経費明細 (概略、レート : 1 元 = 20 円で換算)

(1) ホテル代 (7 泊)	38,000 円
(2) 航空券 (関空~天津、大連~関空)	37,000 円
(3) 海外旅行保険	7,000 円
(4) 交通費 (国内+中国)	17,000 円 (5,000 円+12,000 円)
(5) 飲食・お土産代他	33,000 円
合計	132,000 円

5. 交流記



5月26日(火) 晴れ

10時50分 JR 高槻駅にて中西氏、永井氏と合流し関空迄行く。関空にて郷丸氏と合流、搭乗、出国手続きを終え15:10 離陸した。

大連にて一旦機外に出て待合室にて約1時間待ち18:00 天津に向けて同じ機体の同じ座席番号で離陸した。天津海濱国際空港には予定より10分ぐらい早く19:05 到着。天津老年大学の金暁雲氏と友人が出迎えてくれ、そのままホテルまで送り届けてくれた。部屋で休憩後、携帯電話の料金を振り込み中国での携帯電話が使えるように手続をし、その後ホテルの前の「刀削麵」店で夕食をした。



5月27日(水) 晴れのち曇り

朝の朝食は、街角の屋台で済ませた。その後天津の繁華街(和平通り、賓江通り)を散策した。昼食は「狗不理包子本店」で中国料理を食べる。その後ホテルに戻り、天津老年大学での交流活動の準備をする。13:40 金暁雲氏が車で迎えに来てくれ、天津老年大学へ向かった。

天津老年大学では、高級日本語会話クラスの学生16人と日本人日本語教師が出迎えてくれた。早速自己紹介の後、4グループに分かれてフリートーキングを行った。その後「日本文化の紹介」をパワーポイントにて30分間講演し、17時頃授業と交流は終わった。夜は、場所を中華レストランにて夕食をしながら交流した。日本の歌や中国の歌を交歓し楽しく過ごす事が出来た。岡 興三先生差し入れの「津酒」(天津の酒40度)を頂きすっかり酔っぱらってしまった。ホテルにどうして帰ったかはあまり覚えていない。



5月28日(木) 雨

朝の朝食は、金暁雲氏が、一般市民が食べている朝食を差し入れてくれた。その後大連行の高速鉄道切符を天津駅に買いに行く。金暁雲氏が予め予約してくれていたのスムーズに買う事が出来た。

外国人向けの切符には氏名とパスポート番号が記されている。

昼食は、友人の招待で「餃子百園」にて豪勢な中華料理と水餃子を食した。その後、中医薬大学留学生の金崎氏と天津伊勢丹の7階喫茶店で落ち合い懇談をした。

夜は、董明氏と滕飛氏がホテルに迎えに来てくれ、天津駅近くの津湾広場に有る天津ダックレストランにて夕食会を催してくれた。





ここで曹ご夫妻と合流した。(曹ご夫妻の娘さんは東京の法政大学大学院を、この3月卒業し日本の企業に就職した。その際、身元保証人を依頼された)



5月29日(木)曇りのち晴れ

この朝も金暁雲氏が朝食を差し入れてくれた。その後中国銀行へ両替をしに行った。昼食は天津伊勢丹の地下2階に有る「丸亀うどん」を食べに行った。このうどんは、中国人にも大変人気がある。この時も昼時とあって、近所の中学生や高校生が大勢食べに来ていた。夜は、ホテル近く中華レストランで富苺睿氏、田亜莉氏、呂岩氏と夕食交流会をした



5月30日(金)晴れ

朝食はホテルの食堂で済ませた。チェックアウトの後、金暁雲氏の友人の車で天津駅迄送ってもらった。天津 10:05 発大連北駅に 14:40 着。駅からタクシーにて「大連賓館」へ。大連賓館は、「大和ホテル」と言い、ヨーロッパのルネッサンス式の建築様式で、日本人建築家の太田毅と吉田宗太郎により設計され、1909年着工 1914年竣工された。迎賓室や和風レストラン、中華レストラン、喫茶室(夜はスナック)が有る。その後市内を散策した。満鉄本社跡、満鉄病院後、大連神社等を散策する。



夕食は、中西氏の案内で繁華街の屋台で海鮮料理を食べる。大連は、海の幸が多く海鮮料理の屋台が夕方から 20 店舗程並ぶ。中国人が好む臭豆腐の臭いが鼻につき大変であった。



5月31日(土)晴れ

朝食はホテルの食堂で済ませ(朝食代はホテル代に含まれている)大連駅北広場から旅順口行きのバスに乗る。到着後、東鶏冠山日口戦争陣地跡、関東軍司令部本部跡、大和ホテル旧館、博物館等を見学した。

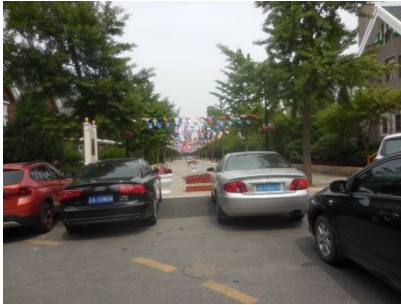
「男装の麗人 川島芳子」の一家が北京から落ちのび住んでいた別荘を見たが中には入れず残念であった。



★川島芳子は、197年5月に、清朝皇族第10代肅親王の第14王女として生まれ、8歳の時に川島浪速の養女となり日本で教育を受けた。その後上海に渡り日本軍の諜報員として従事し、第1次上海事変を勃発させたと言われている。1948年3月没。



大連駅前広場から駅の北側に抜ける地下道は沢山の果物の露店や土産物店、飲食店で、大賑わいで有る。特にサクランボの露店が多い。

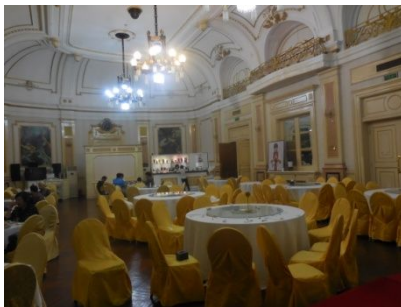


6月1日(月) 晴れ

ホテルで朝食ご2階の喫茶店でくつろいだ後、大連市内の日本人街窓を見学。

市内の路上や歩道には車の駐車が多く歩くのに大変危険を感じる。

夕食はホテルの食堂で最後の晩さん会をした。



6月2日

朝 6:30 タクシーにて大連周水子国際空港へ 8:20 着。9:00 から搭乗手続き。霧の為飛行機の出発時間が約1時間遅れる。12:30 離陸し関空に 15:30 着。



リムジンバスにて JR 茨木迄行き JR 茨木駅から JR 高槻へ帰る。



6. 特に感じた事、聞いた事

- (1) 天津、大連では、まだまだ高層マンションの建設が盛んである。
- (2) 経済発展に伴い、かなり生活水準は高くなってきている。マイカーを持つ若者やサラリーマンが多いしかし、車の駐車場計画がなされてない為、路上や歩道に駐車されている。歩くのに大変危険である。今後、政府の規制に伴って駐車場産業が盛んになる予感がする。
- (3) 中国では日本の電化製品、特に電気炊飯器に人気がある。また、健康サプリメントや化粧品を買い求めたいようである。今回も資生堂化粧品、DHC 健康サプリメントを沢山依頼された。
- (4) 航空運賃について、天津～大連経由～関空往復で、36,000 円と安い。昨年北京～関空往復で 60,000 円で有った。
- (5) 大連では、地下鉄 1 号、2 号線の一部が開通しているが、二期工事が鋭意施行中である。
- (6) 天津の地下鉄では、どの駅でも切符売り場へ入場する前に身体検査とエックス線検査がある。駅ホームには身障者用のエレベーターが設置されている。しかしトイレは無い。